

海ほたる

発行
海上自衛隊
航空補給処



補給本部長初度巡視

夏真っ盛りの8月7日、補本長交代に伴う空補処への初度巡視が行われた。



初度巡視訓示

海特 宮浦 弘児

私は平成20年8月1日付で補給本部長を拝命した宮浦です。

本日の巡視を通じ、松山処長率いる航空補給処、諸君の旺盛な士気と任務遂行に邁進する積極果敢な姿勢に接し、大変心強く思っている。

さて、諸官も承知のとおり、海上自衛隊は、昨年度末、歴史始まって以来の大きな体制移行を敢行した。体制移行後の運用部隊のニーズは今まで以上に多様化しており、そのような中で、補給本部が果たす役割は、ますます大きくなってきたと言わざるを得ない。

加えて、最近公表された防衛省改革会議の報告書においても、防衛省・自衛隊は、国の

の要請にこたえるべく、後方機能も含めた、様々な分野での抜本的改革を求められている。奇しくも、今年は補給本部創立10周年の年でもある。新たな時代の補給本部に脱皮すべく、一人一人がいわゆる業務改革を進めなければならぬ。本来の後方支援業務を遂行しながらのより多忙な状況になると予想されるが、皆で協力しながら対応すれば、この困難を必ず克服できると思っている。一緒に頑張ろう。

以上が訓示である。
本来ならばここで「指導方針」なるものを申し述べなければならぬところであるが、私は「指導方針」というか「勤務方針」たるものは、一人ひとりがそれぞれ心に持つべきものであり、他からどうのこうのと言われるものではないと思っている。

よって、私自身が業務をやる上で留意していることを三点披露して「指導方針」に替えたい。
一つは「自己の業務の重要性の認識」である。自衛隊という大きな組織の中にいると、一人ひとりの業務はどういうものか、自分自身の経験からすると、何のためにこの仕事をやっているのかわからなくなる。特に後方業務はそうである。しかし、海上自衛隊は、後方分野の実力以上のことはできない。単純なペーパーワークであっても、海自全体の中では欠くことのできない重要な任務であることに常に思いをいたす必要がある。

次に、「仕事は皆でやる」ということである。我々の仕事は当然担当というものが定められている。それだけに業務がいわゆる縦割り行政になりやすい。組織の硬直化を防ぐためには、個人個人の業務を常に周りでフォローする体制が重要である。悩みもそうであるが、仕事も一人では抱え込んでは立ち行かなくなる。

最後に「常に広い視野で」ということである。後方の仕事は専門化されている部分が多く、それだけ自分の仕事の殻にこもりやすくなる。プロフェッショナルリズムも勿論必要であるが、それに加え、違った角度からみるというか、もう一つ広い視野から物事を見つめる必要がある。そうすれば、柔軟性が出てくるし、自ずと問題が解決することがまある。



以上であるが、私は需給統制隊時代も含めて、補給本部の勤務は初めてである。私自身も大いに勉強していくが、諸君からも協力と支援をお願いしたい。重ねていうけれど一緒に仕事をしていこう。

処内球技大会

(バレーボール)

5月23日(金)に処内球技大会が爽やかな快晴のもと、陸自第1ヘリ団の体育館において実施された。

大会は、一試合一試合白熱した試合展開が繰り広げられ、スポーツを通じて空補処各部並び総支処の融和団結が図られた。

試合は、21点の3セットマッチで管理部、航空機部、総支処が各2チーム、計画部、保管部が各1チームの計8チームによるトーナメント方式で行われた。

今大会は、昨年度までのソフトバレーボールから競技用バレーボールとなり、より熱戦が繰り広げられ、また各チームとも約1ヶ月間の練習の成果を見せ、好プレー珍プレーが続出し、観客を魅了した。特に、決勝戦の「航空機部Aチーム」対「総支処Bチーム」の試合は、白熱した展開となり、第1セットは、総支処Bチームが、小川3曹を中心に見事なコンビネーションが冴え、大差でものにした。第2セットは、逆に航空機部Aチームが航空機部長を中心に粘りのバレーでものにし、

1-1のイーブンとし、最終第3セットは、両者譲らず、抜きつ抜かれつの展開となったが、最後は、第2セット同様、航空機部Aチームの粘りが勝り、勝利した。



監督兼選手の航空機部長(井澤1佐)は、「満足した試合展開ではなかったが、最後は、皆の気持ちと練習の成果が出た。」と、満面の笑みで語った。

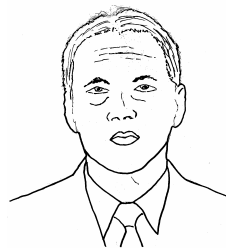
成績は、次のとおり。
優勝 航空機Aチーム
準優勝 総支処Bチーム
第3位 管理部Bチーム

華道部 部員募集

活動日 毎週火曜日
(隔週でも月1でも)
活動時間 11時15分～12時45分
活動場所 毎月1回、給湯室にて
費用 毎月1,000円
狭い場所ですが、おおいに感性を育むチャンスです。
男女問わず興味のある方を募集します。
連絡先: 原価計算課 内線444 佐藤 寛

航空補給処

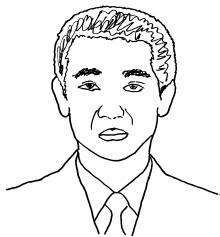
上曹会会長交代



4代会長
谷口曹長

20年7月31日をもちまして、第4代航空補給処上曹会会長を退任いたすこととなりました。在任中は格別のご指導ご厚情を賜り厚く御礼申しあげます。

なお、後任上曹会会長には、総務課就職援助広報室、鈴木曹長が就任致しますので、私同様ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。また、航空補給処上曹会に対する今後益々のご支援、ご協力につきましても併せてお願い致します。



5代会長
鈴木曹長

このたび谷口曹長の後任として、第5代上曹会会長に就任いたしました。はなはだ微力の身ではございますが、歴代会長の名を汚さぬよう上曹会発展のため精一杯頑張る所存でございます。ので、何卒前任者同様、格別のご指導ご協力のほど賜りますようお願い申し上げます。

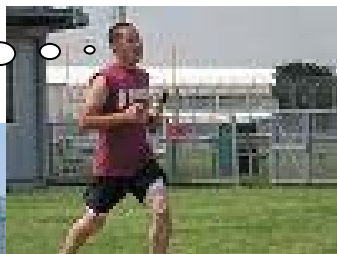
目米ス。ポーツ交歓会

6月17日(火)に米海軍横須賀基地において友好親善と隊員相互の団結及び士気の高揚を目的に目米スポーツ交歓会が実施された。

当日は梅雨を感じさせないような晴天であり各選手も心地よい汗を流していた。

空補処は最初の競技である駅伝で第4位と出鼻をくじかれたが、サッカー優勝、バレーボールも第2位と健闘し、上位入賞を感じさせたがソフトボールが第4位、綱引きも第4位と振るわず総合結果は第4位であった。

来年は下総支処とタッグを組み空補処として最強メンバード望みたいと考えている。今回の参加部隊は補給本部、艦船補給処、航空補給処(航空補給処下総支処)、米海軍側からはFISK、DDYJの参加であった。



最初からとばして大丈夫?



つこないつこないよな

東庄町自衛隊相撲大会

マネージャー

高須2尉

7月26日(土)に千葉県香取郡東庄町で、東庄町自衛隊相撲大会が行われ、空補処相撲部から精鋭14名が参加した。本大会は、天保13年7月27日に諏訪神社の境内で笹川繁蔵が奉納相撲を名目として、農民救済のために開いた花会が始まりとされており、伝統のある東庄町の夏祭りの一つである。



りつける夏日であり、絶好の大会日和となった。

大会には空補処のほか下総教空群の相撲部が参加し、小さな子供から年配の方まで大勢の観客の大声援を受けて、見ている人も思わず息を止めてしまうほどの力のこもった名勝負が繰り広げられた。

また、東庄町子ども会の可愛らしい力士たちによる元気いっぱい相撲も披露された。大会の各種目における空補処相撲部の最高成績は、団体戦で空補処Aチームが準優勝、個人戦で保管課 鈴木3曹が4位であった。

団体戦の決勝では、残念ながら敗れたが、地力に勝る下総チームを相手に勝敗を大将戦にまで持ち込む大健闘であった。

また、個人戦では、一回戦で空補処代表選手が強豪揃いの下総代表選手に次々と敗れていく中、保管課 鈴木3曹がひとり気迫の相撲で勝ち上が



した。本大会を振り返ってみると、昨年以上の成績は残念なかつたが、相撲部員1人1人が確実に力をつけてきており、今後の活躍を予感させる内容であった。

また、東庄町の大会関係者や地域住民、下総チームと親しく交流する中で、良好な信頼関係を育むことができたと感じた。

わたしの趣味

「粘土(つち)との出会い」
技術管理課長

植松2佐



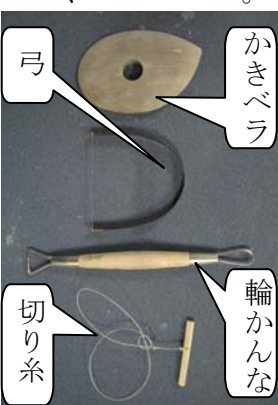
平成19年5月、空自第1補給処「君不去」新聞で陶芸部員募集の記事が目にとまり、そのまま陶芸の世界に踏み入った。

陶芸は、昔からやりたいと思っていた趣味であるが、なかなか機会を得られず、ようやく木更津の地で夢が叶った。現在、毎水曜日を中心に、第1補給処において無心に作品を作っている。

今ではNHKで男の趣味として陶芸が紹介され、大きな書店に行けば「一定年前の男由時間やきもの作りに挑戦」等といった書籍がずらりと並び、陶芸は中高年に人気があ

る。しかしながら、海上自衛隊における陶芸人は極めてまれであり、陶芸部が置かれている部隊は数少ない。私が陶芸に興味をもつきっかけとなったのは、第1整備補給隊の補給専門官有村事務官の影響である。専門官は厚木に単身赴任中、厚木陶芸部で腕を磨かれ、鹿屋に転勤した。現在、自宅に電動ろくろを揃えて、さらに奥を極めようとしてきている。私の陶芸の先生は、本年4月まで空自第1補給処保管課に勤務されていた小山事務官である。先生から機会あるごとによい作品とは何か、どこに注意しなければならぬかなどの指導を受けており、陶芸を始めたことと比べて作品が変化してきている。私の作品は電動ろくろを用いず、すべて手捻りから生まれる。手捻りは仕上げの丁寧さが要求され、高台（こうだい：器底部の丸い輪の台）の仕上げ方、釉薬（ゆうやく）のかけ方など簡単なようで意外に多くの種類があり、興味が尽きない。湯呑みを例に作品が完成するまでの工程を紹介すると、まず、適量の粘土の塊を手ろくろに置き、塊の中心に親指を入れて、手ろくろを少しづつ回しながら内側を広げていく。次に盛り上がった塊を手ではさみ、薄く上へと持ち上げていく。おおかまかな器の形ができたところで、手ろくろを回し、かきべらをあてがいながら器の形を整えていく。このとき

しつかりとかきべらを固定するのがコツで、粘土の厚みを均一にしていける。器の形はかきべらの使い方次第で決まる。かきべらの曲線部を使えば、器は膨らんで球状となり、直線部を使えば、円筒状となる。コツをつかめば簡単である。最後に、弓を使って縁を水平に切り落とし、切り口をセーム皮で整える。器の内部をセーム皮とスポンジを用いて表面を仕上げた後、切り糸を用いて手ろくろから切り離す。ここまでの一連の作業は慣れると時間を要しない。器を乾燥させた後、高台部分を輪かんなどで削り出す。この作業は、何もないところから形を取り出す彫刻に近いような感覚である。高台を作りながら底部のつながりをなめらかに削っていく。削る部分はこの部分だけで、それより上は削らない。もし、全ての部分を削り出してしまうと、手捻りの痕跡が失われ、おもしろみのない作品となってしまう。手捻りのよさがどこにあるのかを考えておくことが重要である。次に、素焼きをする。素焼きは粘土を硬くし、割れにくくする。素焼きした後は釉薬をかけて作品を仕上げていく。釉薬にはいろいろな種類があり、濃度によっても、釉薬の掛け合わせの相性によっても作品の仕上がりが異なってくる。釉薬の特性を早くつかみ、自分のねらう色がどこにある



のかを事前に理解しておくことが上達の近道であるが、これは失敗を積み重ねてようやくわかっていくものである。釉薬をかけ終わったら本焼きとなる。本焼きは、窯の温度、焼き時間によって仕上がりが異なるが、空自第1補給処では電気窯を使用し、焼き方が確立されている。本焼きが終了すると、窯出しになるが、この窯出しが陶芸の最大の楽しみとなる。ねがった色が出ていないか、釉薬が垂れていないか等、不安の中でそのときを待つ。思いを込めて作った作品がうまく自分の期待どおりの作品となっていない。最後の、これまでに作った湯呑み、茶碗、大鉢といった作品群は、手捻りの感触のよさがわかる人にもらっていた。だいてい。陶芸は技術とは別のところ、楽しめる趣味であり、未熟な技量のときの作品でも、当時のお気に入りには、やはり今もお気に入りである。題名の「粘土（つち）」との出会いには粘土をこね、作品を仕上げて行くとき何かも忘れ、無心になれるという意味合いを込めているが、これからの陶芸の森を逍遙し、新たな作品との出会いを楽しむ。平成19年10月付で保管課資材管理係に配属された中堀嘉人と申します。出身は、大阪府東大阪市というところで、工場や中小企業が多くある町で育ちました。航空補給処で採用され、木更津に住むようになり、緑が多く、とてもどかで良いところだと感じています。入隊前の自衛隊の印象は、「堅苦しい」というものでしたが、実際には、職場の方はとても親切で、自分が思っていた印象とは違うものでした。採用され、まだ、一年も経っていないので、これから職場に慣れ、自衛隊という組織にも慣れて行きたいです。仕事に関しては、言われたことをこなすだけで精一杯ですが、今後自分で考え判断できるようにしていきたいと思っています。生活面でも、関東の街などに出ていろいろなものを見て



※入部希望の方は、技術管理課長（植松2佐）までご連絡ください。

新人紹介

保管課
中堀事務官

見聞を広めて行きたいと考えています。また、職場の方たちと交流を深めて行きたいです。

上司からの一言

日々の仕事に対し積極的に取り組む姿勢が感じられます。今後も健康に十分留意して、公私共に充実した生活を過ごしてほしいと願っています。今後の活躍を期待しています。

航空機整備課 多田事務官



私は、平成19年4月1日付で航空機整備課に配置となりました。多田真澄と申します。現在は、機器管理班部品管理係で機器修理用部品の所要量算定等を行っております。出身は山口県防府市で、市内には航空自衛隊の基地があるなど、自衛隊を身近に感じることのできる場所です。入隊する前は、地元で契約社員として働きながら公務員試験の勉強に打ち込む日々でした。入隊した当初は、号令等、自衛隊ならではの雰囲気戸

れと同時に入校期間中は他ではなかなかできない体験を新鮮に感じ、また、自衛隊員としての心構えを学ぶことができました。

業務面においても職務の流れを理解することに苦労しましたが、上司、同僚に助けていただきながら進めていくことができました。

2年目の今年も、まだ判断に困ることが多々あり、周りに助けられることもあります。が、自分の理想の姿に早く近づけるよう努力していきたいと思っています。

上司からの一言

多田事務官は、入隊2年目ですが、先輩に引けをとらないぐらい仕事を頑張っています。

また、新人らしくやる気に満ち溢れた勤務態度は、周囲を感化し、整備課の活性化に貢献しています。

多田事務官には、いつまでも入隊時の気持ちを忘れず、初志を貫き頑張ってもらいたいと思います。

空補処の皆様、多田事務官のことを今後ともよろしくお願い致します。



人事往来

(6/1/8/31)

「転入」(前所属等)

▽空補処付
久保2佐

▽航空機整備課長
森2佐



趣味

出身地

鉄道旅行、バイクツーリング、ラフティング(最近御無沙汰)
岐阜県美濃市
海自航空後方に業務の成果が生きるよう、努力します。

▽企画課長
木下2佐



趣味
出身地
抱負

卓球、釣り
長崎県長崎市
一生懸命

▽航空機整備課
齋藤3佐



趣味

出身地

ジョギング、ツーリング、キャンプ、ガーデニング
栃木県佐野市
空補処の勤務は初めてですが、明るい隊風を築きつつ、日々一歩前進の気概を持ち努めて行きたい。

▽航空機整備課
須藤1尉

▽企画課
大谷1尉

▽航空機補給課
高濱1尉

▽航空機補給課
貞信2尉

▽航空武器整備課
山根2尉

▽総務課
松田3尉

▽航空機整備課
田嶋曹長

▽航空機整備課
越川曹長

▽航空武器整備課
國井1曹

▽会計課
永野1曹

▽情報処理課
遠藤3曹

▽補給管理課
屋良3曹

▽航空武器整備課
内村3曹

▽航空武器整備課
末廣3曹

▽輸送課
佐久間事務官

▽航空機補給課
高橋事務官

「転出」(元配置)

▽幹部学校付
白坂2佐

▽2空群
豊川3佐

▽海幕
・梅木3佐

▽海幕
青木1尉

▽航プロ隊
浦田2尉

▽大造補所
土屋2尉

▽対潜資料隊
渡辺2尉

▽203整備隊
谷口曹長

▽21整備隊
島畑1曹

▽4整備隊
藤崎1曹

▽21整備隊
神作1曹

▽東京地本
川島2曹

▽横監
末富2曹

▽1整備隊
徳永2曹

▽ひゅうがぎ装員
平野士長

▽大造補所
西田事務官

▽装備施設本部
池ノ内事務官

▽八空基
宮永事務官



「定年退職者」
長い間ご苦労様でした。

★航空武器整備課
藤平曹長

(8月13日)



訂正とお詫び

前号11号で次の誤りがありました。
3面 人事往来(伊藤技官の前所属等)
×誤(舞監)
○正(陸自木更津駐屯地業務隊)
大変ご迷惑をお掛けしました。訂正しお詫び申し上げます。